

目標達成計画

作成日：令和2年 1 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 家族との交流会(年2回)では半年毎にスライドにより状況を報告する等家族との関係性も大切にしたい運営である。家族からは苦情も出されていないが、良い意見や職員への労いの言葉等が出されており、今後も良し悪しに関わらず全職員で共有し、やりがいやモチベーションに繋げていきたい。	運営推進会議を、市役所、社会福祉協議会、地域の代表、ご家族で意見交換をして運営に反映させています。会議時の意見や質問、また、認知症サポーターの第一期生の方からは毎回自分の体験談や情報等を報告して頂く等、今後も良し悪しに関わらず多くの意見が出るように会議を進め、サービス向上に努めていく。	ご家族とは手紙や面会、担当者会議時に直接お伝えしている。運営推進会議時の意見、要望等は良し悪しに関わらず、毎月の職場ミーティングにて必ず全職員に伝え共有し、やりがいやモチベーションに繋げていきサービスの向上に努めたい。	6ヶ月
2		○災害対策 昨今の自然災害は各地で想定外の被害をもたらしており、他の災害マニュアルと同様に「水害時のマニュアル」も作成されるよう期待したい。	実施している訓練については、ご家族に報告し、安心していただける様にしている。また、防災食を年2回(9/4,3/11)に提供して災害を風化させないよう努めている。「水害時のマニュアル」については、当ホームは高台にあるため、作成していませんが、水害時は隣のデイサービスも含め避難所としての活用も考えられる。	実施訓練に年2回行い、防災食として水を含め4日分、その他、オムツ等、災害時に入手困難になるものに関しては、それ以上の期間分を確保している。また、水害時のマニュアルは作成していないが、建物に被害が危険な場合は、近くの健康センターへ避難することをご家族、運営推進会議を通じて地域の地域、行政などにも連絡している。今後の新規のご利用者などにも伝えていく。	6ヶ月
3		○食事を楽しめることのできる支援 食事介助が必要なことから、入居者と一緒に食事を楽しむことが難しい状況にある。職員はこれまで以上に食事中の会話や声掛け等により、楽しむ食事を心がけていきたい。	高齢化とともに食事形態もミキサー、トロミ付、キザミ食、お粥など、また、介助の必要な方も多くなっている。ミキサー食については、副菜、夕食野菜は別々にミキサーにかけ、色により食品名を伝え、食事の楽しさを感じて頂く。	入居者の食事の希望を尋ねながら1週間前に献立を立てている。地元商店から下処置をした魚を持って来ていただいたり、ご家族からの差し入れ野菜を活用している。今まで以上に職員も見守りを兼ね声かけや会話をしていくようにする。担当者会議やご家族とのふれあい会では出来るだけ、ご家族との食事を楽しんで頂くようにする。	5ヶ月
4		看護職の協働、連携	高齢者は精神的、身体的にいろんな既往歴を持っておられる。日頃の状態の違いや、異常の早期発見に努め、夜間時の異常時も看護師と連絡が取れ、指示を受けられる体制を取り、介護職が異常の早期発見に努め、健康に過ごしていただきたい。	定期的に感染症や高齢者の罹患率の高い病気や誤嚥予防の口腔ケア等を教育委員会によりビデオ・資料等で研修を行う。日頃のバイタルチェック時、異常の変化の観察力を含め早期に気付けるように学習し健康管理に努めます。	6ヶ月

5	高齢者の急変時の対応とAED操作の向上	ご入居者は何時急変されてもおかしくない高齢の方達です。急変時AEDの使用、救急車を連絡した時、状態でAED開始の指示があった時、いつでも対応出来るように技術の習得に努めます。	介護の仕事の経験が少なく、AEDを見る、扱う機会がなかったため、職員も施設内研修で消防署からの救急救命の指導時は実技を体験し、技術向上に努める。	6ヶ月
---	---------------------	---	--	-----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。